

結果の概要

～平成23年9月分～

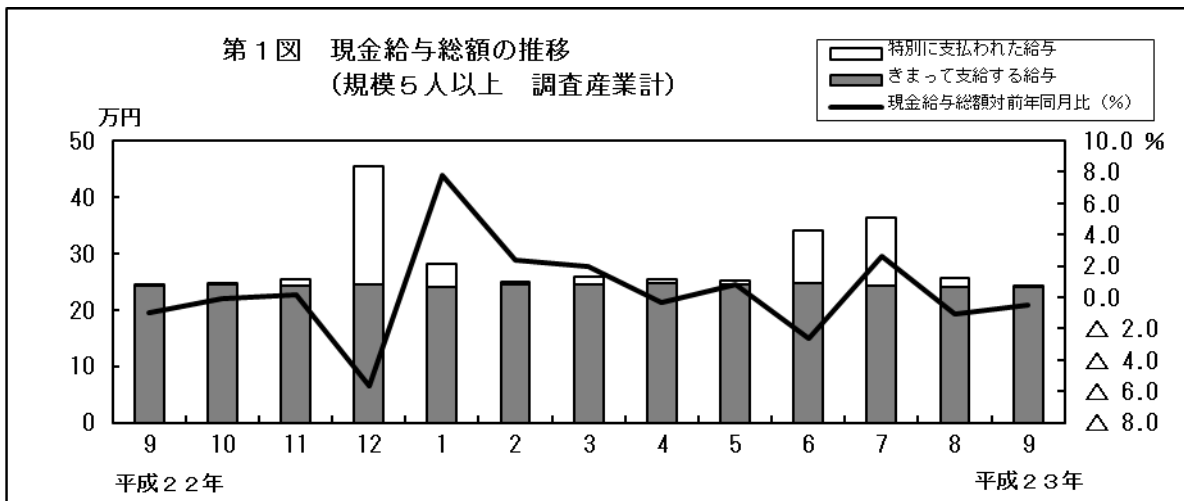
1 賃金の動き

9月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、243,396円となり、その指数は対前年同月比0.5%減（規模30人以上では、266,100円、0.7%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、239,784円、対前年同月比は1.1%減（規模30人以上では、262,755円、1.1%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、224,840円、対前年同月比は0.2%減（規模30人以上では、244,203円、増減無し）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、328,840円（規模30人以上では、346,456円）、パートタイム労働者は、92,626円（規模30人以上では、101,659円）であった。（表20・21表）



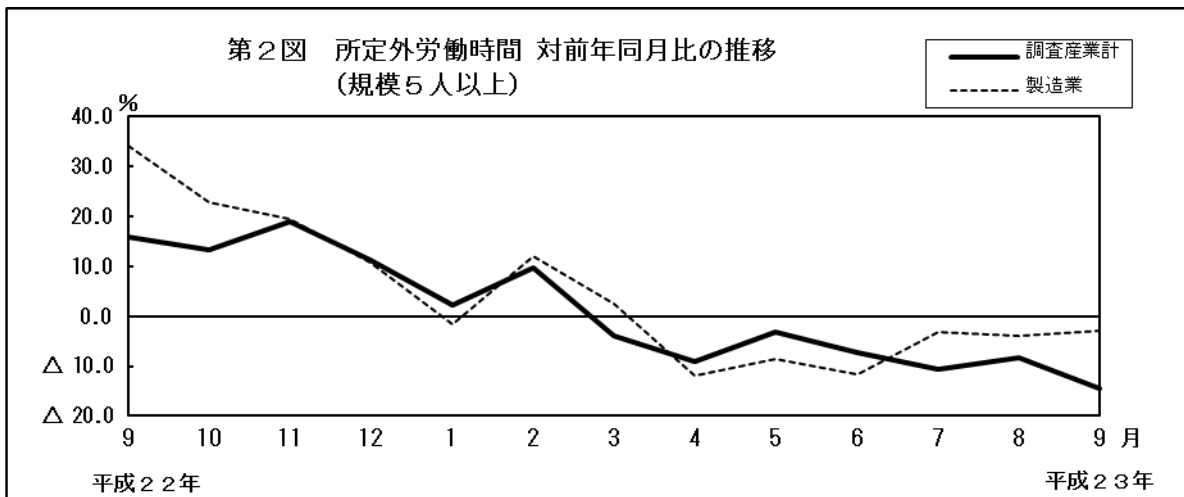
2 労働時間の動き

9月分の調査産業計の月間総実労働時間は、139.8時間、対前年同月比は0.8%減（規模30人以上では、141.9時間、2.6%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、8.7時間、対前年同月比は14.6%減（規模30人以上では、9.6時間、19.3%減）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、12.6時間、3.0%減（規模30人以上では、12.9時間、10.3%減）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、168.7時間（規模30人以上では、165.3時間）、パートタイム労働者は、89.1時間（規模30人以上では、94.2時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

9月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で1,871,275人、対前年同月比は0.5%増（規模30人以上では、1,057,138人、対前年同月比は1.9%増）となった。製造業では409,437人、対前年同月比は1.5%減（規模30人以上では、297,107人、対前年同月比は1.4%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,194,140人（規模30人以上では、710,868人）、パートタイム労働者数は、677,135人（規模30人以上では、346,270人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で36.2%（規模30人以上では、32.8%）であった。（第1・2・20・21表）

